

記載例

あなたの申し立てる事件が60万円以下の金銭の支払を
求めるもので、紛争の解決に少額訴訟手続を利用したい
場合には、この□をレ点でチェックし、本年中に同じ裁
判所においてあなたが少額訴訟による審理及び裁判を求
めるのは今回で何回目なのかを空欄に書いてください。

訴 状

事件名 損害賠償（交通事故による物損）請求事件

少額訴訟による審理及び裁判を求めます。本年、この裁判所において少額訴訟による審理及び
裁判を求めるのは / 回目です。

訴状の作成日

〇〇 簡易裁判所 御 中 令和元 年 6 月 10 日

あなたに対して裁判所から
書類を送る場合にどこに宛て
て送ってほしいか、希望する
場所(送達場所)の□をレ点で
チェックして届け出てください。
以後あなたに対する書類は
この届出場所に宛ててお送
りすることになります。

あなたの勤務先に書類を送
ってほしい場合には、「勤務
先」の□をレ点でチェックし、
勤務先の名称とその住所を書
いてください。

あなたの住所でも勤務先で
もない場所(例えば、あなた
のお父さんの家など)に書類を
送ってほしい場合には、「その
他の場所」の□をレ点でチ
ェックし、「原告等との関係」
の部分に「父の家」などとあ
なたとその場所の関係を
書き、その住所を書いて
ください。

あなたの住所、氏名、電話
やファクシミリがある場合
にはその番号を書き、氏名
の横にあなたの認め印を押
してください。原告(申立人)
が会社であるときは、会
社の所在地、会社名、代
表者の氏名、電話やファ
クシミリがある場合には
その番号を書いた上、代
表者印を押してください。

被告(相手方)の住所、氏
名、電話やファクシミリ
の番号が分かっている場
合にはその番号を書い
てください。被告(相手
方)が会社であるとき
は、商業登記簿謄本又
は登記事項証明書を見
て、会社の所在地、会
社名、代表者の氏名を
書き、また、電話や
ファクシミリの番号が
分かっている場合には
その番号を書いて
ください。


被告(相手方)の勤務先
の名称や住所、電話番
号が分かっている場合
には、その範囲で書い
てください。

上記の届出場所においてあ
なたの代わりにあなた宛
の書類を受け取るべき人
(送達受取人)を届け出
る場合には、この□をレ
点でチェックし、その人
の氏名を書いてくださ
い。この届出をすると、
以後あなたに対する書
類は送達受取人に宛て
てお送りすることにな
ります。

この欄は、簡易裁判所の
窓口でお尋ねください。

被告(相手方)が1名のときは、「被告(相手方)1」欄に、
被告(相手方)が2名のときは、「被告(相手方)1」及び「被
告(相手方)2」欄にそれぞれ記入してください。

なお、相手車両の運転者及びその使用者(例えば、荷物を運送
中のトラックの運転手と運送会社)の両方を被告(相手方)にす
るときは、運転者を「被告(相手方)1」欄に、使用者を「被告
(相手方)2」にそれぞれ記入してください。

原告 (申立人)	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 住 所(所在地) 〇〇果〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 氏 名(会社名・代表者名) 甲野 太郎  TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 FAX 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇												
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記住所等 <input type="checkbox"/> 勤務先 名称 _____ 住所 _____ TEL _____ <input type="checkbox"/> その他の場所(原告等との関係) _____ 住所 _____ TEL _____ <input type="checkbox"/> 原告(申立人)に対する書類の送達は、次の人に宛てて行ってください。 氏 名 _____												
	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 住 所(所在地) 〇〇果〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 氏 名(会社名・代表者名) 乙山 一郎 TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 FAX 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 勤務先の名称及び住所 被告2に同じ TEL _____												
被告(相手方) 2	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 住 所(所在地) 〇〇果〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 氏 名(会社名・代表者名) 株式会社 内田 三郎 TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 FAX 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 勤務先の名称及び住所 _____ TEL _____												
<table border="1"> <tr> <td>訴訟物の価額</td> <td>円</td> <td>取扱者</td> </tr> <tr> <td>貼用印紙額</td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手納郵便切手</td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>貼用印紙</td> <td colspan="2">裏面貼付のとおり</td> </tr> </table>		訴訟物の価額	円	取扱者	貼用印紙額	円		手納郵便切手	円		貼用印紙	裏面貼付のとおり	
訴訟物の価額	円	取扱者											
貼用印紙額	円												
手納郵便切手	円												
貼用印紙	裏面貼付のとおり												

遅延損害金の支払を求める場合には、この□をレ点でチェックし、いつからの遅延損害金の支払を求めるのかを書いてください。

事故のあった日から遅延損害金の支払を求める場合には、「□平成 □令和 年 月 日」の□をレ点でチェックして、空欄にその日付を書いてください。また、この訴状を被告（相手方）が受け取った日の翌日から、遅延損害金の支払を求める場合には「訴状送達の日翌日」の□をレ点でチェックしてください。

この事件の判決が確定する前に判決の内容に基づいて強制執行をしたいときには、この□をレ点でチェックしてください。

事故の状況を簡単に分かりやすく書いてください。

事故によってあなたが支払わなければならない費用で、被告（相手方）に請求するものの内訳を書いてください。

ここに例示されているような証拠書類があれば該当する□をレ点でチェックし、その他の証拠書類があれば空欄の□をレ点でチェックして空欄にその書類の名称を記載し、その書類の写し（コピー）を2通（被告（相手方）が2名のときは3通）作成して、訴状と一緒に提出してください。

「請求の趣旨」とは、あなたが求める裁判のことです。

被告（相手方）に請求する金額を書いてください。

「訴訟費用」とは、申立手数料や裁判所を通じて被告（相手方）などに送った書類の郵便料金や証人に支払う旅費・日当などのことです（弁護士等の費用は含まれません）。

事故のあった日時、場所を書いてください。

あなたと被告（相手方）がそれぞれ運転していた車両の種類（なお、記載例の他には「自動二輪車」「自転車」などが考えられます。）を記載してください。

運転者と使用者の両方を被告（相手方）にしたときは、この□をレ点でチェックしてください。

被告（相手方）の言い分や、この紛争について他に参考となることなどを書いてください。

請求の趣旨	損害賠償—交通事故による物損	
	被告は、原告に対して、連帯して 次の金員を支払え。	金 200,000 円
紛争の要点	上記金額に対する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 30年 12月 24日 から支払済みまで <input type="checkbox"/> 訴状送達の日翌日
	年5パーセントの割合による金員	訴訟費用は、被告の負担とする。
（請求の様）	との判決（ <input checked="" type="checkbox"/> 及び仮執行の宣言）を求めます。	
	事故発生日時 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 30年 12月 24日 <input type="checkbox"/> 午前 <input checked="" type="checkbox"/> 午後 3時 30分頃 事故発生場所 ○○県○○市○○町○○丁目○○番路路上 車両の種類 原告 普通乗用自動車 被告 普通貨物自動車 事故の状況 交差点手前の停止線で原告運転の車が停止していた。後ろから来て前をよく見ていなかった被告運転の車が原告運転の車の後部へ衝突し、原告運転の車の後部バンパー・バックライト部分がこわれた。 <input checked="" type="checkbox"/> 被告は、被告の使用者である。	
原因	損害	<input checked="" type="checkbox"/> 車等の修理代金 金 150,000 円 <input checked="" type="checkbox"/> 代車使用料 金 50,000 円 <input type="checkbox"/> 金 円
	参考事項	被告らは、被告が加入している保険で原告が運転していた車の修理代金などを支払うことが約束していたのに、現在まで全く支払おうとしない。
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故証明書 <input type="checkbox"/> 示談書・念書 <input checked="" type="checkbox"/> 車等の損傷部分の写真 <input checked="" type="checkbox"/> 領収書 <input checked="" type="checkbox"/> 車等の修理代金見積書 <input checked="" type="checkbox"/> 事故状況説明図 <input checked="" type="checkbox"/> 商業登記簿謄本又は登記事項証明書 <input type="checkbox"/>	

事故状況説明図とは、事故のあった交差点や道路などの簡単な地図に、事故のあった時の原告運転の車と被告運転の車の位置関係や、衝突した位置等を簡単に書き込むことによって、事故の様子を表した図面のことです。保険会社等が作成した図面があれば、その写し（コピー）を2通（被告（相手方）が2名のときは3通）作成し、提出してください。保険会社等が作成した図面がなければ、あなた自身で、例えば右図のような簡単な図面を書き、その写し（コピー）を2通（被告（相手方）が2名のときは3通）作成して、訴状と一緒に提出することも考えられます。

